



# みやぎテレナース育成プログラム

～地域課題解決型看護や遠隔看護を提供できる看護DX人材育成～



## プログラム説明 & 受講生募集

2025（令和7）年度プログラムについて  
授業計画や受講要領の概要をご説明します。



2025（令和7）年度運営責任者  
齊藤 奈緒



公立大学法人  
**宮城大学**  
MIYAGI UNIVERSITY

看護学群

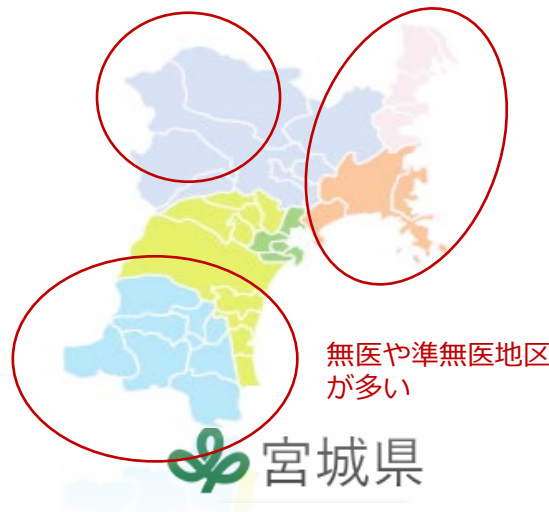
リカレント教育プログラム

## 宮城県の課題

\* 我が国の課題でもある

- 人口減少と超高齢化の加速
- 医療資源の偏在・格差や人材不足
- 震災やコロナ禍によるコミュニティ分散・創生に伴う新たな健康課題

第7次宮城県地域医療計画より



地域特性に根差す（glocal）医療・看護のDX推進に貢献できる

地域住民の健康的な暮らし と 安心・笑顔をとどける テレナースになろう

看護DXとは データやICT技術を活用して看護の質の最大化と創造的な看護の実現を目指す変革

## 身につける力

地域特性に根差す看護を創造する力

地域住民の健康課題を地域特性や社会資源を生かして解決できるマネジメント力  
&  
過疎や島しょ地域にも対応できる遠隔看護(テレナーシング)スキル

## 受講対象者

看護師 20名

診療所 病院の外来 訪問看護ステーション 地域包括支援センター など  
地域・在宅看護にかかわっている or かかわろうと考えている看護職のみなさま  
地域・在宅看護や遠隔看護に関心のある看護職のみなさま

## 受講料と受講環境

72,000円 または 90,000円（ベーシック編 54,000円 + アドバンス編 18,000円/項目）

\* 2025年度は宮城県委託事業として開講するため 以下の要件を満たす方は 受講料免除

- ①自施設からの推薦があり、プログラム修了後1年以内に自施設で講習・勉強会を開催する
- ②プログラム評価のための調査に回答する
- ③宮城県内の医療・看護に貢献する意思がある

\* 自宅学習WiFi接続料・対面授業の交通費・宿泊費等は自己負担

必要時 タブレット端末貸与あり（e-learning学習やスキルトレーニングで活用）

## プログラム期間

約40時間・約4か月

6月1日開講式/ガイダンス・10月4日閉講式

ベーシック編とアドバンス（応用）編の2部構成

1 オンライン研修と対面研修の組み合わせで 時間と交通費を削減でき 効率よく学べる

\* 夜間・週末など自分時間で学習できるe-learningが約半分 （目安：3～4時間/1週間）

\* 対面授業・演習は 土日祝日に集中開講



# プログラム

## ベーシック編（約30時間）13科目

### 地域課題解決型看護の基礎編

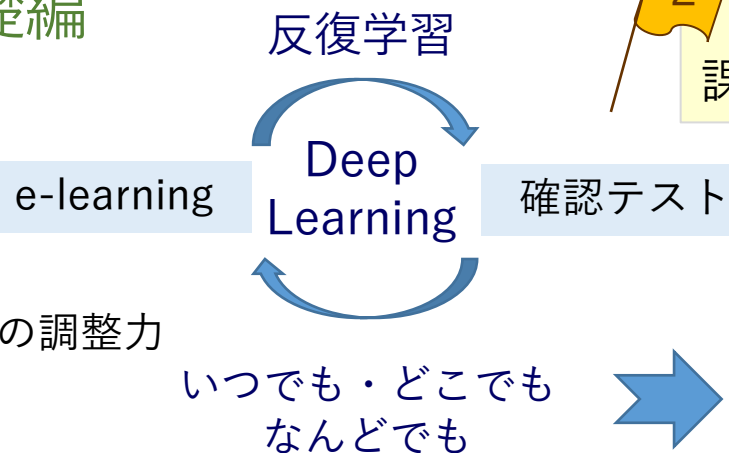
- ・看護DXに必要な思考力と倫理観
- ・慢性病と生きる対象者の特徴と看護
- ・リハビリテーション看護
- ・地域特性に根差す看護
- ・地域における多職種連携・協働
- ・地域連携・協働に必要となる看護職の調整力

### 遠隔看護の入門編

- ・テレナーシングの基本
- ・ICTリテラシーと  
情報セキュリティ・リスク管理

### 遠隔看護の実践編

- ・遠隔コミュニケーション/  
カウンセリングスキル
- ・遠隔メンタリング（教育支援）スキル
- ・遠隔カンファレンス・  
ファシリテーションスキル
- ・遠隔診療システムと  
遠隔モニタリングスキル
- ・遠隔アセスメント/トリアージスキル



遠隔看護の実践編開始  
までの自由時間

2

少人数制で、問題意識を共有した仲間と地域  
課題解決型看護と遠隔看護の基本から学べる

地域課題解決型看護と遠隔看護に関する  
**基礎的知識の確実な修得**

- \* 学習履歴を把握しながら自己学習できる
- \* 日本で先駆的に取組む教育・研究者の講義

e-learning・事前学習/対面講義  
グループワーク(zoom/対面)



実践演習(経験型学習)  
高機能シミュレーター等を  
活用したスキルトレーニング

遠隔看護に関する  
**スキルの修得（思考+技術）**

- \* スキルトレーニング室で授業（宮城大学）
- \* 遠隔医療/看護実践家(医師・NP)による授業

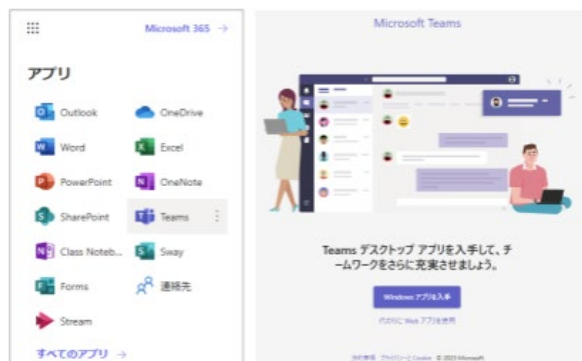
リアリティの高い専門的・実践的な  
スキルトレーニング

7月6日~8月3日の土日の指定日

# 学習管理システム（LMS）の活用

R6年度例：仕様等は変更の可能性あり・ガイダンスで説明します

## Microsoft Teams 皆さんにID付与



【ファイル】授業資料 や 授業動画等へのリンクシートが格納される  
【投稿】 連絡や質問がチャット形式でできる！



「一般」チャンネルの「投稿」に  
zoomへのURL等がある  
連絡等もこのチャンネル上に掲載される  
\*チャット形式です

質問は  
「掲示板」に入力

# 学習管理システム（LMS）の活用

## Microsoft Teamsでe-learning:①授業視聴



新しい Teams を試す

アクティビティ

チャット

チーム

課題

カレンダー

通話

ファイル

アプリ

R5ベーシック編\_授業計画・各種リンク.pdf

R5年度 みやぎテレナース育成プログラム<授業計画>

地域課題解決型看護や遠隔看護を提供でき、地域看護のDX推進を担う「みやぎテレナース」の役割・課題を理解し、必要な知識・スキル・態度を養うことを目的とする

- 対象地域で暮らす人々の健康課題を的確にアセスメントする力を強化できる
- 地域の特性を捉え、社会資源との連携・協働力やマネジメント力を強化できる
- 情報リテラシーや遠隔看護に必要な知識・スキルを獲得できる
- 対象地域の健康課題を解決するための看護DXリテラシーを獲得できる

| スケジュール                         | 選択/必修 | 科目 No | 科目名                        | 学習目標                                                                                                                                                                                                                     | 授業名                                                                                                                                                                                                              | 授業方法                         | 授業評価 | 確認テスト | スキルチェック |
|--------------------------------|-------|-------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------|-------|---------|
| 6/25<br>～<br>実践開始<br>(7/28) まで | 選択    | 1     | 看護の創造と思考                   | 1) 看護を創造すること、そのために必要な力について説明できる<br>2) 地域課題解決型看護において必要な看護師の実践思考について説明できる<br>3) 地域で暮らす人を看護の視座で捉えるための要点を説明できる<br>4) 地域で暮らす人の問題や課題を解決する思考過程の要点を説明できる<br>5) 地域で看護を展開する上での倫理課題について説明できる<br>6) 看護職キャリアを模る上でのリフレクションスキルについて説明できる | 看護・看護師の創造<br>看護師の実践思考<br>看護過程の要点と対象を捉える代表的な特長<br>看護倫理と倫理のジレンマ①看護倫理<br>看護倫理と倫理のジレンマ②倫理的課題への対応<br>看護職としての成長とキャリアデザイン                                                                                               | e-learning<br>(～7/28)        | (任意) | (任意)  | —       |
|                                | 選択    | 2     | 慢性病と生きる対象者の特徴と看護           | 1) 看護の視座で捉える病気や慢性病、慢性病と生きる対象者への看護の役割を説明できる<br>2) 慢性病と生きるひととそその家族の身体的、心理的、社会的特徴について説明できる<br>3) 慢性病の疾病管理と自己（健康）管理について説明できる<br>4) 慢性病と共に生きる対象者のセルフマネジメントの特徴を説明できる<br>5) 慢性病と共に生きる対象者への看護師が行う教育支援の要点を説明できる                   | 慢性病と生きる対象者の特徴①看護が捉える病気と慢性病<br>慢性病と生きる対象者の特徴②慢性病と生きるひとと家族の特徴<br>疾病管理と自己管理①疾病管理とセルフケア<br>疾病管理と自己管理②セルフマネジメント<br>慢性病患者への自己管理支援①学習を支援する<br>慢性病患者への自己管理支援②看護が行う教育的支援                                                  | e-learning<br>(～7/28)        | (任意) | (任意)  | —       |
|                                | 選択    | 3     | リハビリテーション看護                | 1) リハビリテーションの概念と分類を説明できる<br>2) 障害の捉え方を説明できる<br>3) 地域で暮らす対象者の生活機能を捉えるICFを説明できる<br>4) 障害者と家族の体験を説明できる<br>5) リハビリテーション看護の定義と役割を説明できる                                                                                        | リハビリテーションと障害①リハビリテーションの概念<br>リハビリテーションと障害②障害とリハビリテーションの分類<br>生活機能と障害①生活機能と障害<br>生活機能と障害②障害者・家族の体験と障害者<br>リハビリテーション看護の実践①リハビリテーションの定義と役割<br>リハビリテーション看護の実践②リハビリテーション看護実践の要点<br>リハビリテーション看護の実践③リハビリテーションに関わる専門職の態度 | e-learning<br>(～7/28)        | (任意) | (任意)  | —       |
| 6/25<br>～<br>実践開始<br>(7/28) まで | 必修    | 4     | 地域特性に根拠する看護                | 1) 地域医療に関する用語の定義と地域包括ケアシステムを説明できる<br>2) 地域づくりのプロセスと看護の役割を説明できる<br>3) 地域特性を理解する方法とそれに根拠する看護を説明できる<br>4) チーム医療と多職種連携、看護職の役割を説明できる                                                                                          | 地域医療の現状・地域包括ケアシステム<br>地域におけるコミュニケーション<br>地域特性に根拠する看護 地元創成 (global) 看護<br>地域に必要な多職種チームと看護職の役割                                                                                                                     | e-learning<br>(～7/28)        |      |       | —       |
|                                | 必修    | 5     | 地域における多職種連携・協働             | 1) 地域連携・多職種協働におけるチームワークについて説明できる<br>2) 多職種連携に必要なコンピテンシーについて説明できる<br>3) 多職種協働におけるコンフリクトマネジメントについて説明できる<br>4) 地域連携におけるケアカンファレンスと地域ケア会議の違いや要点を説明できる                                                                         | チームワーク<br>多職種連携コンピテンシー<br>コンフリクトマネジメント<br>ケアカンファレンス・地域ケア会議                                                                                                                                                       | e-learning<br>(～7/28)        |      |       | —       |
|                                | 必修    | 6     | 地域連携・協働に必要な看護職の調整力         | 1) 地域連携に求められる看護職のリーダーシップについて説明できる<br>2) 地域連携コンサルテーションにおけるコーチングの要点を説明できる<br>3) 地域連携コンサルテーションにおけるロジカルシンキングの要点を説明できる<br>4) 地域連携に求められるファシリテーションの要点を説明できる                                                                     | 看護職の調整力とリーダーシップ<br>コンサルテーションスキル①コーチング<br>コンサルテーションスキル②ロジカルシンキング<br>ファシリテーションスキル                                                                                                                                  | e-learning<br>(～7/28)        |      |       | —       |
|                                | 必修    | 7     | 遠隔看護の基本                    | 1) テレナーシングの定義、原則、目的と意義、対象、種類を説明できる<br>2) テレナーシングのプロセスと準備を説明できる<br>3) テレナーシングに必要な能力・スキルを説明できる<br>4) テレナーシングのエビデンスを説明できる<br>5) 遠隔診療における診療報酬とテレナーシングの位置づけを説明できる                                                             | テレナーシングの基本<br>テレナーシングの準備とプロセス<br>テレナーシングに必要な能力・スキル<br>テレナーシングのエビデンス<br>テレナーシングと診療報酬                                                                                                                              | e-learning<br>(～7/28)        |      |       | —       |
| 遠隔看護の実践編                       | 必修    | 8     | ICTリテラシーと情報・リスク管理          | 1) テレナーシングで使用する情報機器やネットワークの要点を説明できる<br>2) インターネット活用において必要な情報セキュリティの要点を説明できる<br>3) 情報管理のためのリスクマネジメントの基本を説明できる                                                                                                             | 情報リテラシー<br>医療情報セキュリティ<br>情報管理のためのリスクマネジメント①<br>情報管理のためのリスクマネジメント②                                                                                                                                                | e-learning<br>(～7/28)        |      |       | —       |
|                                | 必修    | 9     | 遠隔コミュニケーション<br>遠隔カンファセンシング | 1) 遠隔コミュニケーションと遠隔カンファセンシング、対象者との関係構築方法の要点を説明できる<br>2) 演習を通して遠隔コミュニケーションスキルを獲得できる<br>3) 演習を通して遠隔ツールを用いた対象者との関係構築方法スキルを獲得できる                                                                                               | 遠隔コミュニケーション・遠隔カンファセンシングスキル (7/28まで)<br>ICTを活用したコミュニケーション技法<br>遠隔での関係構築<br>遠隔カンファセンシングスキル                                                                                                                         | e-learning<br>オンライン<br>(ライブ) |      | —     | 👉       |
|                                | 必修    | 10    | 遠隔メンタリング                   | 1) 遠隔メンタリングの定義、種類を説明できる<br>2) 演習を通して遠隔保健指導スキルを獲得できる<br>3) 演習を通して遠隔セルフケア支援スキルを獲得できる<br>4) 演習を通して遠隔リハビリテーション支援スキルを獲得できる                                                                                                    | 遠隔メンタリングスキル (7/28まで)<br>遠隔保健指導 (1次予防)<br>遠隔セルフケア支援 (2次予防)<br>遠隔リハビリ支援 (3次予防)                                                                                                                                     | e-learning<br>オンライン<br>(ライブ) |      | —     | 👉       |
| 8月6日 (日)<br>9:30～16:30         | 必修    | 11    | 遠隔モニタリング                   | 1) 遠隔モニタリングの定義とその内容、方法について説明できる<br>2) 演習を通して遠隔モニタリングツールを活用したモニタリングができる<br>3) 演習を通して遠隔モニタリングしたデータを基にアセスメントできる<br>4) 演習を通して遠隔アセスメントしたことを適切に報告・連絡・相談できる                                                                     | 遠隔モニタリングスキル (8/5まで)<br>遠隔モニタリングツールとモニタリングスキル<br>遠隔アセスメントスキル・トリアージスキル・臨床推論<br>遠隔での連携スキル: 報告・連絡・相談 (Ns→Dr)                                                                                                         | e-learning<br>対面             |      | —     | 👉       |

授業名をクリックすると  
授業動画へリンクされます

# 学習管理システム（LMS）の活用

## Microsoft Teamsでe-learning:①授業視聴

一般 投稿 ファイル +

+ 新規 グリッドビューでの編集 開く 共有 ... × 1個のアイテムを選択

ドキュメント > General > 00授業資料（配付資料） > 1\_地域課題解決型看護の基礎編

| 名前                      | 更新日時       | 更新者 |
|-------------------------|------------|-----|
| 01_看護の創造と思考.pdf         | 2023年6月30日 | 江角伸 |
| 02_慢性病と生きる対象者の特徴と看護.pdf |            | 原亜  |
| 03_リハビリテーション看護(更新).pdf  |            | 山真  |
| 04_地域特性に根差す看護.pdf       |            | 原亜  |
| 05_地域における多職種連携.pdf      |            | 原亜  |
| 06_看護師の調整力.pdf          |            | 原亜  |

開く  
プレビュー  
共有  
リンクのコピー  
これをタブで開く  
アクセス許可の管理  
削除  
お気に入り  
ショートカットの追加  
**ダウンロード**  
名前の変更  
SharePoint で開く  
上部に固定  
移動する  
コピー  
その他

授業資料は  
ファイルから  
ダウンロードして  
プリントできる

授業動画を視聴  
1本約10～20分で  
集中できる！

Stream e\_learning\_2\_1\_1 検索

記録 アップロード お気に入り + プレイリスト 移動する コピー

プレビュー 共有

“地域課題解決型看護の基礎編”

## 2 慢性病と生きる対象者の特徴と看護

講師  
成人看護学領域  
齊藤 奈緒

慢性病と生きる対象者の特徴

①看護が捉える病気と慢性性

地域で暮らす看護の対象者は慢性疾患を有する方々です。看護の視座で捉える病気や慢性性、慢性病と生きる対象者への看護の役割について考えます。

lecture 01

宮城大学  
MIYAGI UNIVERSITY  
看護学群

e\_learning\_2\_1\_1

# 学習管理システム（LMS）の活用

## Microsoft Teamsでe-learning:②確認テスト



授業を視聴したら  
確認テスト！

確認テスト

Shift+ クリック(Enter)で  
Formsへ

### R5年度 みやぎテレナース育成プログラム＜授業計画＞

地域課題解決型看護や遠隔看護を提供でき、地域看護のDX推進を担う“みやぎテレナース”の役割・課題を理解し、必要な知識・スキル・態度を養うことを目的

- 1) 対象地域で暮らす人々の健康課題を的確にアセスメントする力を強化できる
- 2) 地域の特性をとらえ、社会資源との連携・協働力やマネジメント力を強化できる
- 3) 情報リテラシーや遠隔看護に必要な知識・スキルを獲得できる
- 4) 対象地域の健康課題を解決するための看護DXリテラシーを獲得できる

|               | スケジュール                          | 選択/必修 | 科目<br>No | 科目名                      | 学習目標                                                                                                                                                                                                                       | 授業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 授業方法                         | 授業<br>形式 | 評価<br>方法 | 評価<br>割合 |
|---------------|---------------------------------|-------|----------|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|----------|----------|----------|
| 地域課題解決型看護の基礎編 | 6/25<br>～<br>実践編開始<br>(7/28) まで | 選択    | 1        | 看護の創造と思考                 | 1) 看護を創造すること、そのために必要な力について説明できる<br>2) 地域課題解決型看護において必要な看護師の実践思考について説明できる<br>3) 地域で暮らす人々を看護の視座で捉えるための要点を説明できる<br>4) 地域で暮らす人々の問題や課題を解決する思考過程の要点を説明できる<br>5) 地域で看護を展開する上での倫理課題について説明できる<br>6) 看護職キャリアを積む上でのリフレクションスキルについて説明できる | <a href="#">看護・看護学の創造</a><br><a href="#">看護師の実践思考</a><br><a href="#">看護過程の要点と対象を捉える代表的な枠組み</a><br><a href="#">看護倫理と倫理的ジレンマ①看護倫理</a><br><a href="#">看護倫理と倫理的ジレンマ②倫理的課題への対応</a><br><a href="#">看護職としての成長とキャリアデザイン</a>                                                                                                              | e-learning<br>(～7/28)        | (任意)     | (任意)     | —        |
|               |                                 | 選択    | 2        | 慢性病と生きる対象者の特徴と看護         | 1) 看護の視座で捉える病気や慢性性、慢性病と生きる対象者への看護の役割を説明できる<br>2) 慢性病と生きるひととその家族の身体的、心理的、社会的特徴について説明できる<br>3) 慢性病の疾病管理と自己（健康）管理について説明できる<br>4) 慢性病と共に生きる対象者のセルフマネジメントの特徴を説明できる<br>5) 慢性病と共に生きる対象者への看護師が行う教育支援の要点を説明できる                      | <a href="#">慢性病と生きる対象者の特徴①看護が捉える病気と慢性性</a><br><a href="#">慢性病と生きる対象者の特徴②慢性病と生きるひとと家族の特徴</a><br><a href="#">疾病管理と自己管理①疾病管理とセルフケア</a><br><a href="#">疾病管理と自己管理②セルフマネジメント</a><br><a href="#">慢性病患者への自己管理支援②看護が行う教育的支援</a>                                                                                                           | e-learning<br>(～7/28)        | (任意)     | (任意)     | —        |
|               |                                 | 選択    | 3        | リハビリテーション看護              | 1) リハビリテーションの概念と分類を説明できる<br>2) 障害の捉え方を説明できる<br>3) 地域で暮らす対象者の生活機能を捉えるICFを説明できる<br>4) 障害者と家族の体験を説明できる<br>5) リハビリテーション看護の定義と役割を説明できる                                                                                          | <a href="#">リハビリテーションと障害①リハビリテーションの概念</a><br><a href="#">リハビリテーションと障害②障害とリハビリテーションの分類</a><br><a href="#">生活機能と障害①生活機能と障害</a><br><a href="#">生活機能と障害②障害者・家族の体験と障害者</a><br><a href="#">リハビリテーション看護の実践①リハビリテーションの定義と役割</a><br><a href="#">リハビリテーション看護の実践②リハビリテーション看護実践の要点</a><br><a href="#">リハビリテーション看護の実践③リハビリテーションに関わる専門職の役割</a> | e-learning<br>(～7/28)        | (任意)     | (任意)     | —        |
| ベーシック（基礎編）    | 6/25<br>～<br>実践編開始<br>(7/28) まで | 必修    | 4        | 地域特性に根差す看護               | 1) 地域医療に関する用語の定義と地域包括ケアシステムを説明できる<br>2) 地域づくりのプロセスと看護の役割を説明できる<br>3) 地域特性を理解する方法とそれに根差す看護を説明できる<br>4) チーム医療と多職種連携、看護職の役割を説明できる                                                                                             | <a href="#">地域医療の現状・地域包括ケアシステム</a><br><a href="#">地域におけるコミュニティづくり</a><br><a href="#">地域特性に根差す看護 地元創成（local）看護</a><br><a href="#">地域に必要な多職種チームと看護職の役割</a>                                                                                                                                                                         | e-learning<br>(～7/28)        |          |          | —        |
|               |                                 | 必修    | 5        | 地域における多職種連携・協働           | 1) 地域連携・多職種協働におけるチームワークについて説明できる<br>2) 多職種連携に必要なコンピテンシーについて説明できる<br>3) 多職種協働におけるコンフリクトマネジメントについて説明できる<br>4) 地域連携におけるケアカンファレンスと地域ケア会議の違いや要点を説明できる                                                                           | <a href="#">チームワーク</a><br><a href="#">多職種連携コンピテンシー</a><br><a href="#">コンフリクトマネジメント</a><br><a href="#">ケアカンファレンス・地域ケア会議</a>                                                                                                                                                                                                       | e-learning<br>(～7/28)        |          |          | —        |
|               |                                 | 必修    | 6        | 地域連携・協働に必要な看護職の調整力       | 1) 地域連携に求められる看護職のリーダーシップについて説明できる<br>2) 地域連携コンサルテーションにおけるコーチングの要点を説明できる<br>3) 地域連携コンサルテーションにおけるロジカルシンキングの要点を説明できる<br>4) 地域連携に求められるファシリテーションの要点を説明できる                                                                       | <a href="#">看護職の調整力とリーダーシップ</a><br><a href="#">コンサルテーションスキル①コーチング</a><br><a href="#">コンサルテーションスキル②ロジカルシンキング</a><br><a href="#">ファシリテーションスキル</a>                                                                                                                                                                                  | e-learning<br>(～7/28)        |          |          | —        |
| 遠隔看護の入門編      |                                 | 必修    | 7        | 遠隔看護の基本                  | 1) テレナースの定義、原則、目的と意義、対象、種類を説明できる<br>2) テレナースのプロセスと準備を説明できる<br>3) テレナースに必要な能力・スキルを説明できる<br>4) テレナースのエビデンスを説明できる<br>5) 遠隔診療における診療報酬とテレナースの位置づけを説明できる                                                                         | <a href="#">テレナースの基本</a><br><a href="#">テレナースの準備とプロセス</a><br><a href="#">テレナースに必要な能力・スキル</a><br><a href="#">テレナースのエビデンス</a><br><a href="#">テレナースと診療報酬</a>                                                                                                                                                                        | e-learning<br>(～7/28)        |          |          | —        |
|               |                                 | 必修    | 8        | ICTリテラシーと情報・リスク管理        | 1) テレナースで使用する情報機器やネットワークの要点を説明できる<br>2) インターネット活用において必要な情報セキュリティの要点を説明できる<br>3) 情報管理のためのリスクマネジメントの基本を説明できる                                                                                                                 | <a href="#">情報リテラシー</a><br><a href="#">医療情報セキュリティ</a><br><a href="#">情報管理のためのリスクマネジメント①</a><br><a href="#">情報管理のためのリスクマネジメント②</a>                                                                                                                                                                                                | e-learning<br>(～7/28)        |          |          | —        |
|               |                                 | 必修    | 9        | 遠隔コミュニケーション<br>遠隔カンファレンス | 1) 遠隔コミュニケーションと遠隔カンファレンス、対象者との関係構築方法の要点を説明できる<br>2) 演習を通して遠隔コミュニケーションスキルを獲得できる<br>3) 演習を通して遠隔ツールを用いた対象者との関係構築方法スキルを獲得できる                                                                                                   | <a href="#">遠隔コミュニケーション・遠隔カンファレンススキル (7/28まで)</a><br><a href="#">ICTを活用したコミュニケーション技法</a><br><a href="#">遠隔での関係構築</a><br><a href="#">遠隔カンファレンススキル</a>                                                                                                                                                                             | e-learning<br>オンライン<br>(ライブ) |          |          | —        |
| 遠隔看護の実践編      | 7月29日（土）<br>9：30～12：30          | 必修    | 10       | 遠隔メンタリング                 | 1) 遠隔メンタリングの定義、種類を説明できる<br>2) 演習を通して遠隔保健指導スキルを獲得できる<br>3) 演習を通して遠隔セルフケア支援スキルを獲得できる<br>4) 演習を通して遠隔リハビリテーション支援スキルを獲得できる                                                                                                      | <a href="#">遠隔メンタリングスキル (7/28まで)</a><br><a href="#">遠隔保健指導（1次予防）</a><br><a href="#">遠隔セルフケア支援（2次予防）</a><br><a href="#">遠隔リハビリ支援（3次予防）</a>                                                                                                                                                                                        | e-learning<br>オンライン<br>(ライブ) |          |          | —        |
|               | 8月6日（日）<br>9：30～16：30           | 必修    | 11       | 遠隔モニタリング                 | 1) 遠隔モニタリングの定義とその内容、方法について説明できる<br>2) 演習を通して遠隔モニタリングツールを活用したモニタリングができる<br>3) 演習を通して遠隔モニタリングしたデータを基にアセスメントできる<br>4) 演習を通して遠隔アセスメントしたことを適切に報告・連絡・相談できる                                                                       | <a href="#">遠隔モニタリングスキル (8/5まで)</a><br><a href="#">遠隔モニタリングツールとモニタリングスキル</a><br><a href="#">遠隔アセスメントスキル・トリアージスキル・臨床推論</a><br><a href="#">遠隔での連携スキル：報告・連絡・相談（Ns～Dr）</a>                                                                                                                                                           | e-learning<br>対面             |          |          | —        |

# 学習管理システム（LMS）の活用

## Microsoft Teamsでe-learning:②確認テスト

7. 遠隔看護の基本

こんにちは、奈緒。このフォームを送信すると、所有者に名前とメールアドレスが表示されます。

\* 必須

1. テレナーシングに向かない対象者をすべて選びなさい (2 点) \*

- ☐ 終末期にあり機器操作が困難
- ☐ 認知機能の低下や言語的コミュニケーションが困難で代替者や家族等が不在
- ☐ 本人の心身状態が安定している
- ☐ セルフケア意識が低い
- ☐ 通信状況が悪い

7. 遠隔看護の基本

🏆 完了しました。

これまでのいくつかの結果を表示できます。採点が完了すると、最終スコアの準備が整います。

応答を保存して、情報を保持する機会をお見逃しなく。

**結果の表示** **応答を保存する**

別の回答を送信

回答が終了したら  
正誤・成績・解説が  
確認できる

終了したら保存しておく  
と進捗が確認できる

Microsoft Formsによるテスト（選択式）  
繰り返しテストを受け知識定着を図る！

× 誤り 0/2 点数

2. テレナーシングについての説明として、適切なものをすべて選びなさい \*

- ☐ テレナーシングには、治療の一環として行う保健指導や教育が含まれる ✓
- ☐ テレナーシングは、テレメディスン（遠隔医療）、テレヘルスケア（遠隔ヘルスケア）と並ぶ、遠隔サービスである
- ☐ テレナーシングは、自宅で受ける看護の一形態である ✓
- ☒ テレナーシングによる慢性疾患自己管理支援の意義は、看護職が利用者の情報を得て、セルフケアが困難な利用者に代わって支え、救急受診を減らすことである

**フィードバック:**  
テレナーシングによる慢性疾患自己管理支援の意義は、情報を利用者と共有することで、心身の変化に本人が気づくことを促し、セルフケアを支えていくことにある

確認テスト  
8割以上の得点まで  
繰り返す  
(修了要件)

## Microsoft Teamsでe-learning: ③授業評価（回答必須）

新しい Teams を試す

< > 🔍 検索

閉じる ...

R5ベーシック編\_授業計画・各種リンク.pdf

**R5年度 みやぎテレナース育成プログラム<授業計画>**

地域課題解決型看護や遠隔看護を提供でき、地域看護のDX推進を担う「みやぎテレナース」の役割・課題を理解し、必要な知識・スキル・態度を養うことを目的とする

- 対象地域で暮らす人々の健康課題を的確にアセスメントする力を強化できる
- 地域の特性をとり、社会資源との連携・協働力やマネジメント力を強化できる
- 情報リテラシーや遠隔看護に必要な知識・スキルを獲得できる
- 対象地域の健康課題を解決するための看護DXリテラシーを獲得できる

| スケジュール                | 選択/必修 | 科目 No. | 科目名              | 学習目標                                                                                                                                                                             | 授業名                                                                                                                                                      | e-learning (-7/28)                                                                                                                                                                                                                        | (任意)               | (任意) | -    |
|-----------------------|-------|--------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------|------|
| 6/25 ~ 実践開始 (7/28) まで | 選択    | 1      | 看護の創造と思考         | 1) 看護を創造すること、そのために必要な力について説明できる<br>2) 地域課題解決型看護において必要な看護師の役割<br>3) 地域で暮らす人を看護の視座で捉えるための要点<br>4) 地域で暮らす人の問題や課題を解決する思考過程<br>5) 地域で看護を展開する上での倫理的問題について<br>6) 看護職キャリアを履むまでのリアクションスキル | 看護・看護学の創造                                                                                                                                                | e-learning (-7/28)                                                                                                                                                                                                                        | (任意)               | (任意) | -    |
|                       | 選択    | 2      | 慢性病と生きる対象者の特徴と看護 | 1) 看護の現場で捉える病気(慢性性、慢性性と生<br>2) 慢性病と生きるひととの家族の身体的、心理的<br>3) 慢性病と共に生きる対象者のセルフマネジメントの特徴を説明できる<br>4) 慢性病と共に生きる対象者への看護師が行う教育支援の要点を説明できる                                               | 疾病管理と自己管理のセルフマネジメント<br>慢性病患者への自己管理支援①学習を支援する<br>慢性病患者への自己管理支援②看護を行う教育的支援                                                                                 | e-learning (-7/28)                                                                                                                                                                                                                        | (任意)               | (任意) | -    |
|                       |       |        |                  | 1) リハビリテーションの概念と分類を説明できる<br>2) 療育の考え方を説明できる<br>3) 暮らしやすさに対する生活環境を整える方法を説明できる                                                                                                     | 生活機能と障害受容①生活機能と障害<br>生活機能と障害受容②障害を・家族の体験と障害受容<br>リハビリテーション看護の実践①リハビリテーションの定義と役割<br>リハビリテーション看護の実践②リハビリテーション看護実践の要点<br>リハビリテーション看護の実践③リハビリテーションに関わる専門職の態度 | e-learning (-7/28)                                                                                                                                                                                                                        | (任意)               | (任意) | -    |
|                       |       |        |                  |                                                                                                                                                                                  | アシストを説明できる<br>療育を説明できる<br>療育について説明できる<br>ア会議の違いや要点を説明できる<br>グについて説明できる<br>の要点を説明できる<br>ノキングの要点を説明できる<br>点を説明できる<br>療育、種類を説明できる                           | 地域医療の現状・地域包括ケアシステム<br>地域におけるコミュニティづくり<br>地域特性に拠る看護・地産創成 (global) 看護<br>地域に必要な多職種チームと看護職の役割<br>チームワーク<br>多職種連携コンディenser<br>コミュニティマネジメント<br>ケアカンファレンス・地域ケア会議<br>看護職の能力とリーダシップ<br>コンサルテーションスキル①コーチング<br>コンサルテーションスキル②ロカリスンギンク<br>フシリテーションスキル | e-learning (-7/28) | (任意) | (任意) |

\*\*\*\*\*! < Shift + クリック

**7.遠隔看護の基本 授業評価**

こんにちは、奈緒。このフォームを送信すると、所有者に名前とメールアドレスが表示されます。

1. 今回の授業はあなたにとっていかがでしたか？以下の項目について、最も当てはまる欄を選択してください ☐

|                       | 1. 全く思わない             | 2. 思わない               | 3. どちらともいえない          | 4. そう思う               | 5. 非常にそう思う            |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| (理解度) 学んだ内容を理解できた     | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (参加度) 主体的に参加することができた  | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (到達度) 学習目標に到達することができた | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| (満足度) 学びが充実していた       | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

送信

自分の回答についての確認メールを受け取る

チェックを入れると回答をメールで受け取れます

送信ボタンを確実に押して提出を確認しましょう

最後に授業の評価アンケート

すべての受講生とは修了証書

教員はコントロールして準備

最後に授業アンケートで  
授業を評価する

授業の質や皆さんの満足度  
学習環境に関する  
アンケートです

すべての授業評価をすることは修了要件です

教員はモニタリングし  
控えている授業計画に役立  
てて準備できます

# プログラム

ADVANCE編（9時間/項目） 1 項目選択必須

8月下旬~9月下旬の土日祝日の指定日

## 地域課題解決 & 遠隔看護の実践編

※BASIC編での学習を活用する応用編

認知症合併心不全・神経難病（ALS）  
医療ケア児・認知症家族メンタルケア・  
がん緩和ケア・慢性腎不全・医療ケア児・  
COPD・脳卒中・生活習慣病一次予防 等

1～2項目を受講者が選択

4

仮想地域「MYU TOWN」を使って看護DXリテラシー  
をより実践的に学べる

双方向講義  
（対面）  
グループワーク  
全体ディスカッション



実践演習（経験型学習）  
「MYU-TOWN」シナリオ  
＋  
高機能シミュレーター等を  
活用したシミュレーション実習

課題（実践立案）

3

地域住民の健康課題にあった課題解決型 &  
遠隔看護の実践力をアレンジして学べる

| 必修科目                                             | 時間  | 授業形式       |
|--------------------------------------------------|-----|------------|
| 医療的知識<br>（病態・治療・検査・画像診断を含む）                      | 1.5 | e-learning |
| 基本的ケア論<br>（対象理解・援助方法等の基本的知識）                     | 1.5 | e-learning |
| シミュレーション演習<br>事例場面セッションとリフレクション<br>OSCE（スキルチェック） | 6.0 | 対面演習       |

地域課題解決型看護と遠隔看護に関する  
実践的技能的修得（思考+技術）

- \* 教材環境が整った宮城大学スキルラボで
- \* 連携施設スペシャリストナースやNP  
有資格実務家教員によるファシリテーション

リアリティの高い専門的・実践的な  
シミュレーション学習による経験型学習

# 宮城大学が新たに開発した第3の教材：リアルに近い仮想シミュレーション教材

高機能シミュレーターと組合わせて利活用！より実践的なシミュレーション学習 & DXリテラシーの獲得が可能



## プログラム修了要件

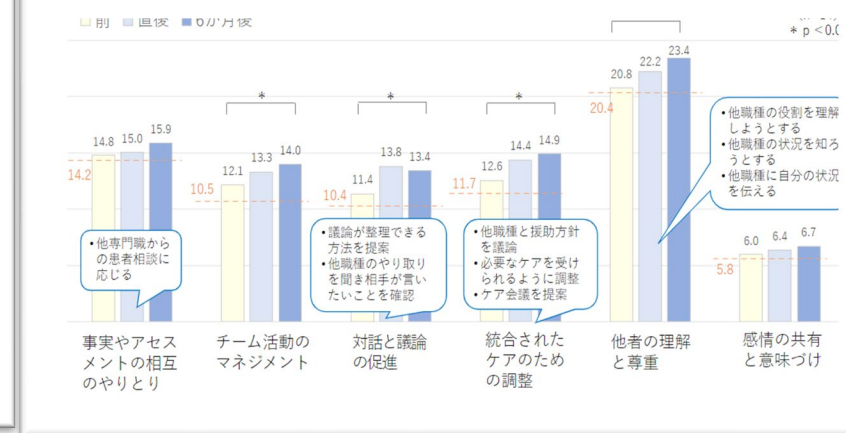
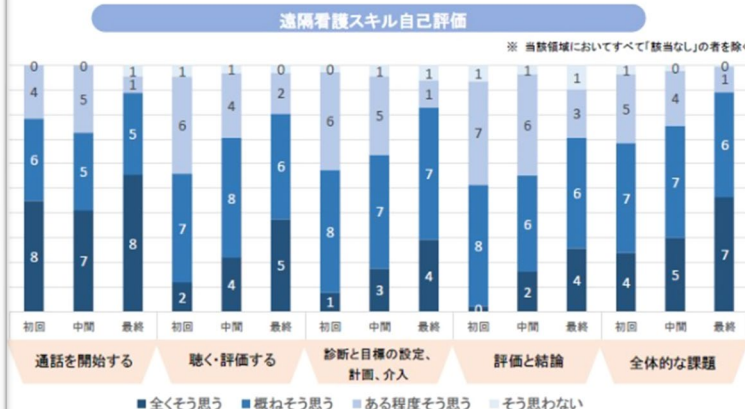
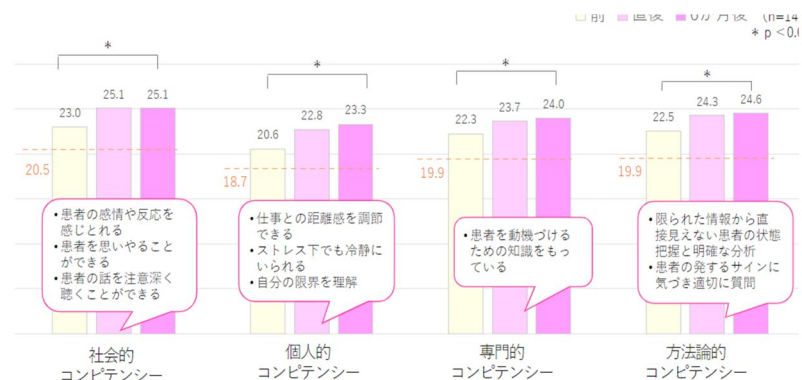
- 1) すべての授業を受講していること
- 2) 指定された確認テスト・課題を受け、合格していること
  - ① e-learning科目について、アドバンスコース開講日前日までに、確認テスト受け、80%以上の正答率であること
  - ② プログラム前、ベーシック編修了時、プログラム修了時の自己評価を行っていること
  - ③ 全授業の「授業評価アンケート」に回答していること
  - ④ 遠隔看護実践編の科目に出席し、スキルチェックに回答していること
  - ⑤ アドバンスコース内において行われるOSCE（技術試験）を受けていること



# プログラムで習得できる能力

①遠隔看護の実践力 指標：テレナーシング・コンピテンシー  
指標：テレナーシング自己評価ツール

②他機関・多職種との協働・連携力  
指標：IPWコンピテンシー尺度



## 期待される成果(キャリアアップ)

「みやぎテレナース」として地域医療・看護で活躍

## 地域への波及効果

①地域課題解決ができる協働・連携マネジメントスキルを強化した「みやぎテレナース」の活躍による

地域のネットワーク化と協働・連携の促進

②遠隔看護リテラシーを新たに獲得した「みやぎテレナース」の活躍による 地域医療・看護のDX推進

### 指標

- 他機関合同研修の増加
- 他職種がファレンス・相談件数の増加
- 医療福祉情報ネットワーク登録数の増加





公立大学法人

宮城大学 看護学群  
MIYAGI UNIVERSITY

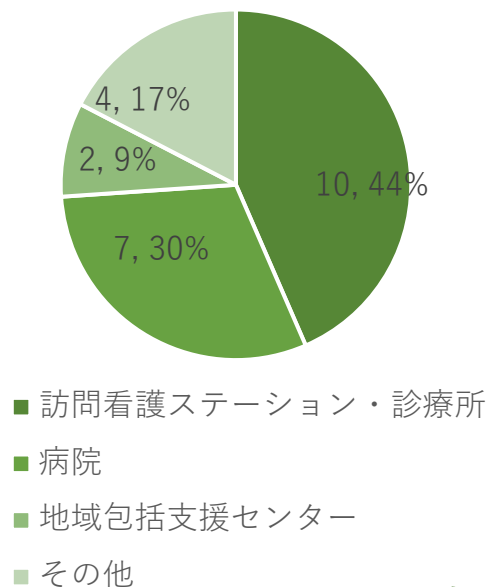
リカレント教育プログラム

# みやぎテレナース育成プログラム

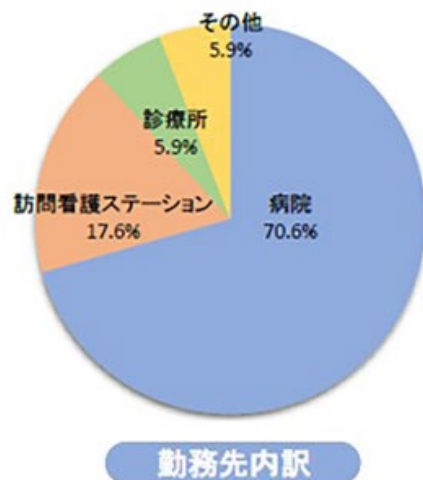
～地域課題解決型看護や遠隔看護を提供できる看護専門職の人材育成～

ひとびとの健康な暮らしのために  
地域特性に根差す看護を創造する 地域課題解決型看護や遠隔看護の実践力を身につけた  
みやぎテレナース になろう

R4年度 受講生



R5年度受講生



R4～R6年度修了生の声



- ・ 離島や過疎地域での看護に携わっていて/コロナ禍で遠隔看護のスキルが必須となったが、基本的な知識やスキルを初めて実践的に学べた
- ・ 訪問看護や遠隔看護をしたい思いが強くなった
- ・ 日々の地域看護実践を新たに意味づけられた
- ・ 受講生同士のつながりができて楽しかった
- ・ 対面と遠隔とを効果的に組み合わせて必要な看護を創っていくことが大事で、すぐに遠隔看護システムの導入は難しくても、そのために必要なことが分かり準備ができた



お申し込みは 宮城大学ホームページから

R4年度：文部科学省R3予算：DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業(R4年度実施)委託

R5年度：宮城大学学長裁量 特認研究費助成/ R6年度～ 宮城大学リカレント教育プログラム+R7年度～宮城県医療専門人材確保及び育成委託事業(予定)